

## 令和6年度第1回後期高齢者医療懇談会 議事概要

- 1 開催日時 令和6年12月10日(火) 午後2時30分から午後3時30分まで
- 2 開催場所 群馬県公社総合ビル1階 東研修室
- 3 出席者 【委員】坂本委員、後閑委員、荻原委員、平山委員、服部委員、高松委員、原委員、岡田委員  
【事務局】事務局長、次長、保健事業室長、管理課長、給付課長、総務担当、賦課担当

### 4 議題

- (1) 広域連合の運営状況について
- (2) 後期高齢者向け健康づくりイベントのチラシについて
- (3) 被保険者証廃止後の取扱いについて

### 5 議題に係る意見等

#### (1) 広域連合の運営状況について

##### 【質疑】

Q： 令和5年度の健診の受診率をお聞きしたい。また、令和4年度と比較して令和5年度の保健事業費が多くなっているがその要因はどのようなものか。併せて受診率向上のための工夫点はあるか。

A： 受診率は令和4年度より低く、36%程度であったが、全国平均よりは高い水準となっている。受診率向上対策として、市町村によっては民間事業者を利用したり、受診勧奨通知を個別に送付している。保健事業費の増加については、被保険者数の増加による受診者数の増加が要因と思われる。

Q： 健診の受診率は年齢が上がるごとに減少するものなのか。

A： 国保健診から後期高齢者健診に移る段階で受診率は下がり、また、要介護等になる被保険者も増えるため健診を受診しなくなると思われる。原因は不明であるが、75～79歳の被保険者の受診率よりも80～84歳の被保険者の受診率の方が高いものとなっている。

Q： 一人当たり医療費について、群馬県は全国平均より下回っているが、その要因は被保険者が健康だからということではないと思われる。全国と比較して県内で受けられる医療に違いあることが要因ではないだろうか。

A： 全国平均が高額なのは、都市部の医療機関において高度な医療が実施された結果と考えられる。

## (2) 後期高齢者向け健康づくりイベントのチラシについて

### 【質疑】

Q： このイベントは75歳未満の者は参加できないのか。

A： イベントの周知は75歳以上の者にのみ通知して行うものではあるが、それ以外の者でもGウォークアプリ内の機能としてラジオ体操を行うことは可能である。

Q： イベントの開催時期を1月とした理由はあるのか。

A： 屋内でも実施可能なラジオ体操をテーマにしたことで、外出をあまりしなくなると予想される1月を開催時期としたものである。

### 【意見】

- ・アプリの登録が高齢者には難しいようで、薬局で薬剤師に登録をお願いするケースも多い。チラシを薬剤師会にも配布していただければ来局者におすすめることができる。
- ・アプリを利用するのは高齢者にはハードルが高く、抵抗感を感じる。より高齢者に受け入れられやすいイベントも今後実施していただきたい。

## (3) 被保険者証廃止後の取扱いについて

### 【質疑】

Q： 医療機関等で発生したマイナ保険証に関するトラブル事例の吸い上げは行っているのか。

A： 国が事例の吸い上げを行い、各自治体に対応策等の情報を提供している。

Q： マイナ保険証については、高齢者にはマイナポータルの操作が難しい等の意見があるほか、諸問題も発生しているが、国は今後もマイナ保険証への一本化を進めていく方針なのか。

A： 後期高齢者医療については、マイナ保険証を所持していない被保険者や、マイナ保険証を所持している被保険者で申請を行った要配慮者に対して資格確認書を毎年発行することができるようになる予定となっている。

### 【意見】

- ・高齢者にとってマイナンバーカードの使用は、設定方法がわからない、紛失時のリスクが怖い等の要因からハードルが高いものであると感じる。役所の方が出向いて説明する機会が多くなれば、マイナンバーカードの普及率も上昇するのではないかとと思われる。
- ・マイナンバーカードについては医療機関においても患者に対し説明をしているところであるため、医療機関に対する制度等の説明を引き続き行っていただきたい。

#### (4) その他

なし